



発行者
 社団法人 静岡県珠算協会
 社団法人 全国珠算教育連盟静岡県支部
 (静岡市駿河区八幡2丁目)
 発行人 中林正隆
 編集人 深澤好胖
 印刷所 大和多印刷所



新年のご挨拶

中林正隆

明けましておめでとうございます。皆様にはご健勝にてよき新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もよろしく御指導の程お願い申し上げます。

昨年の漢字は「絆」で表現されました。東日本大震災から始まり『なでしこジャパン』で沸き立ち「絆」が強調されました。年末に来て金正日総書記の急死、消費税改定問題、新党結成の動きで新年を迎えることになりました。

昨年の一大イベント、第五十八回国珠算研究集会は、静岡市民文化会館で、全国から多数の珠友が集まり盛大に行われました。大変寒かったです、好天に恵まれ、日本一の富士山を眺めることができました。前夜祭から始まり閉会にいたるまで

澤田幸子、宮崎順孝両先生の素晴らしい司会の下、整然と進行し成功裏に終了いたしました。

理事長はじめ本部役員の皆さん、参加された皆さんから賛美とお礼の言葉をいただきました。詳細にわたる進行計画の作成、事前準備に両先生が連携されたことがよかったです。有難うございました。

参加者名簿、名札の作成から多岐に亘るアドバイスをいただいた杉山忠郎本部理事に感謝いたします。官庁関係をはじめとして渉外関係他、すべてを仕切って頂いた松村総務部長、研修部に関する事務はもとより細かな作業に尽力された深澤研修部長、目まぐるしく変化する事務処理を、ときばきとこなしてくれた事務職員の青島さん、大塚さん、はじめ、役員の皆さん

の献身的なご協力のおかげと厚く御礼申し上げます。

研究集会の前日(十二月二十五日)理事支部長連絡協議会が行われ珠算教職者共済会について清算案が提示され了承されました。これは、保険業法の改正により共済会の短期給付事業が一方的に廃止されることにより、将来実行されるべき保障の積立金の一部を、満期返戻金として会員に返還されることになりました。

満期返戻金の基準日は、平成二十一年十二月三十一日で、基準日に在籍し、会費を負担した人に限り、満期返戻金を支払うことになりました。基準日に在籍していた会員が死亡した場合には、会員に代わって遺族に支払われます。満期返戻金は、平成二十四年三月三十一日までに請求する。満期返戻金の額は、会費種別と在籍期間を基準として計算され、会員に通知されます。三号会員、在籍期間二十一年の場合六万二千円程度と試算されています。これは、一時所得として所轄税務署に申告しなければなりません。

これらの為、新しい体系の珠算教職者共済会の基金として災害給付基金、六千万円、教場給付金三千万円を積み立てることになりました。公益法人関係では、本部の会計が、支部に対する検定交付金をはじめとする交付金の会計のみを報告するシステムにされたため、交付金会計とその他の会計に分離することになりました。そのため、各支部では任意団体を設立しております。

本県では、すでに歴とした社団法人静岡県珠算協会(特例民法法人)があります。社団法人静岡県珠算協会は、昭和十七年九月に創立、昭和二十五年七月に静岡県から社団法人を許可されました。昭和二十八年九月、全国珠算教育連盟創立に当たり積極的に協力、昭和二十九年一月、全珠連静岡県支部を創立、静珠協会員百十六名全員が団体加入いたしました。

爾来、会計は分けつつも表裏一体の活動を続けて参りました。本部会計改革を受け、実態に合わせて静珠協が全珠連の事業を行う形に踏み切りたいと思います。その為全珠連会計を静珠協の会計に組み入れることと致したく準備を進めます。会員組織も従来の静珠協会員が全珠連に加入し、静岡県の全珠連は静珠協会員で組織している実態を再確認したいと思っております。会員皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

本年の課題として、会員増加、特に若年会員の増加が急務です。会員年齢の高齢化が進む中、支部活動の硬直化が危惧されております。若い力を結集し支部活動の活性をはかりましょう。その為には、従来の地区内規を英断を持って改正し、若い力による、日本伝統文化「そろばん」の継承発展を図りましょう。

